

平成12年国勢調査小学校区別指標

～平成12年国勢調査結果に基づく福岡市小学校区別主要指標～

平成12年国勢調査結果に基づき、福岡市の小学校区別主要指標をまとめましたので、その結果についてご紹介いたします。

付表として小学校区別指標～平成12年国勢調査結果に基づく福岡市小学校区別主要指標～を添付しておりますので併せてご利用ください。

なお、小学校区は平成12年10月1日現在に基づくものです。

1 人口及び世帯

人口及び世帯数が最も多いのは香住丘校区

人口についてみますと、香住丘校区(東区)が19,319人で、全市の総人口(1,341,470人)の1.4%を占め最も多く、以下、内浜校区(西区)が17,946人(同1.3%)、平尾校区(中央区)が17,932人(同1.3%)、那珂校区(博多

区)が17,258人(同1.3%)、博多校区(博多区)が16,053人(同1.2%)と続いています。

一方、人口が最も少ない校区は、曲淵校区(早良区)の197人(同0.0%)となっています。

次に、世帯数についてみますと、人口と同様、香住丘校区が9,939世帯で、全市の総世帯数(599,989世帯)の1.7%を占め最も多く、以下、博多校区が9,596世帯(同1.6%)、平尾校区が9,582世帯(同1.6%)、片江校区(城南区)が8,729世帯(同1.5%)、警固校区(中央区)が8,506世帯(同1.4%)と続いています。

一方、世帯数が最も少ない校区は、曲淵校区(早良区)及び小呂校区(西区)の64世帯(同0.0%)となっています。

2 人口性比

大学周辺の校区で高い性比を示す

人口性比(女100人に対する男の数)につい

表1 人口の多い小学校区及び少ない小学校区

順位	小学校区	区	実数	構成比(%)	順位	小学校区	区	実数	構成比(%)
1	香住丘	東区	19,319	1.4	1	曲淵	早良区	197	0.0
2	内浜	西区	17,946	1.3	2	小呂	西区	211	0.0
3	平尾	中央区	17,932	1.3	3	勝馬	東区	309	0.0
4	那珂	博多区	17,258	1.3	4	玄界	西区	708	0.1
5	博多	博多区	16,053	1.2	5	能古	西区	805	0.1
6	宮竹	博多・南区	16,027	1.2	6	西浦分校	西区	1,192	0.1
7	三宅	南区	15,563	1.2	7	北崎	西区	1,778	0.1
8	片江	城南区	15,551	1.2	8	志賀島	東区	2,007	0.1
9	高取	早良区	15,216	1.1	9	脇山	早良区	2,676	0.2
10	美和台	東区	14,662	1.1	10	早良	早良区	4,070	0.3

表2 世帯数の多い小学校区及び少ない小学校区

順位	小学校区	区	実数	構成比(%)	順位	小学校区	区	実数	構成比(%)
1	香住丘	東区	9,939	1.7	1	曲淵	早良区	64	0.0
2	博多	博多区	9,596	1.6	1	小呂	西区	64	0.0
3	平尾	中央区	9,582	1.6	3	勝馬	東区	108	0.0
4	片江	城南区	8,729	1.5	4	玄界	西区	219	0.0
5	警固	中央区	8,506	1.4	5	能古	西区	263	0.0
6	内浜	西区	8,419	1.4	6	西浦分校	西区	316	0.1
7	南当	中央区	7,944	1.3	7	北崎	西区	494	0.1
8	那珂	博多区	7,904	1.3	8	志賀島	東区	624	0.1
9	高取	早良区	7,803	1.3	9	脇山	早良区	817	0.1
10	三宅	南区	7,689	1.3	10	今津	西区	949	0.2

てみますと、筈松校区(東区)が134.1で最も高く、以下、松島校区(東区)が126.6、香椎下原校区(東区)が123.3、片江校区(城南区)が119.9などとなっており、上位には大学近辺の校区が多くなっています。

一方、性比が最も低い校区は、曲淵校区(早良区)の74.3で、以下、警固校区(中央区)の75.2、平尾校区(中央区)の77.5、赤坂校区(中央区)の78.8などと、中央区に性比の低い校区が多く分布しています。

表3 人口性比が高い小学校区

順位	小学校区	区	性比
1	筈松	東区	134.1
2	松島	東区	126.6
3	香椎下原	東区	123.3
4	片江	城南区	119.9
5	東光	博多区	117.9
6	七隈	城南区	112.2
7	春住	博多区	112.1
8	箱崎	東区	111.8
9	香住	東区	110.2
10	和白	東区	109.3

表4 人口性比が低い小学校区

順位	小学校区	区	性比
1	曲淵	早良区	74.3
2	警固	中央区	75.2
3	平尾	中央区	77.5
4	赤坂	中央区	78.8
5	勝馬	東区	79.7
6	福浜	中央区	81.1
7	別府	城南区	81.3
8	春吉	中央区	81.4
9	箕子	中央区	81.8
10	西陵	西区	81.9

3 年齢3区分別割合

(1) 年少人口割合

愛宕浜校区が最も高い

年少人口(0~14歳)の割合についてみますと、愛宕浜校区(西区)が22.6%で最も高く、以下、香陵校区(東区)が22.3%、百道浜校区(早良区)が22.2%、三苦校区(東区)が21.4%、苅岐東校区(西区)が21.3%と続いています。

一方、最も低い校区は、春吉校区(中央区)の4.7%で、以下、住吉校区(博多区)の6.0%、大名校区(中央区)の6.3%など、博多区及び中央区に年少人口の割合が低い校区が多く見受けられます。

表5 年少人口の割合が高い小学校区

順位	小学校区	区	割合(%)
1	愛宕	浜西区	22.6
2	香陵	東区	22.3
3	百道	早良区	22.2
4	三苦	東区	21.4
5	苅岐	西区	21.3
6	小田	早良区	20.9
7	長丘	南区	20.8
8	香椎	東区	20.7
9	下山	西区	20.0
10	弥生	博多区	19.9

表6 年少人口の割合が低い小学校区

順位	小学校区	区	割合(%)
1	春吉	中央区	4.7
2	住吉	博多区	6.0
3	大名	中央区	6.3
4	博多	博多区	7.1
5	箕子	中央区	7.3
6	千代	博多区	7.5
7	東住吉	博多区	7.7
8	堅粕	博多区	7.9
9	馬出	東区	8.0
10	曲淵	早良区	8.1

(2) 生産年齢人口割合

東住吉校区が最も高い

生産年齢人口(15~64歳)の割合についてみますと、東住吉校区(博多区)が80.6%で最も高く、以下、高宮校区(中央区)が80.1%、警固校区(中央区)が79.9%、箕子校区(中央区)及び美野島校区(博多区)が79.7%と続いています。

一方、最も低い校区は、今津校区(西区)の54.3%で、以下、曲淵校区(早良区)の58.9%、小呂校区(西区)の59.7%、西浦分校校区(西区)が60.0%などとなっています。

表7 生産年齢人口の割合が高い小学校区

順位	小学校区	区	割合(%)
1	東住吉	博多区	80.6
2	高宮	中央区	80.1
3	警固	中央区	79.9
4	箕子	中央区	79.7
4	美野島	博多区	79.7
6	春吉	中央区	79.6
7	玉川	南区	79.0
7	大楠	南区	79.0
9	堅粕	博多区	78.9
10	片江	城南区	78.6

表8 生産年齢人口の割合が低い小学校区

順位	小学校区	区	割合(%)
1	今津	西 区	54.3
2	曲淵	早良 区	58.9
3	小呂	西 区	59.7
4	西浦分校	西 区	60.0
5	能古	西 区	60.2
6	北崎	西 区	60.7
7	玄界	西 区	60.9
8	月隈	博多 区	61.1
9	西戸	崎東 区	62.6
10	勝馬	東 区	63.1

(3) 老年人口割合

今津校区が最も高い

老年人口(65歳以上)の割合についてみますと、今津校区(西区)が35.5%で最も高く、以下、曲淵校区(早良区)が33.0%、能古校区(西区)が28.2%、北崎校区(西区)が27.3%などと、生産年齢人口の割合が低い校区で高い割合を示しています。

一方、最も低い校区は、香陵校区(東区)の3.9%、以下、百道浜校区(早良区)の5.6%、松島校区(東区)の6.8%と続いています。

表9 老年人口の割合が高い小学校区

順位	小学校区	区	割合(%)
1	今津	西 区	35.5
2	曲淵	早良 区	33.0
3	能古	西 区	28.2
4	北崎	西 区	27.3
5	勝馬	東 区	26.2
6	玄界	西 区	25.6
7	志賀	島東 区	25.5
8	西浦分校	西 区	25.1
9	西陵	西 区	23.7
9	月隈	博多 区	23.7

表10 老年人口の割合が低い小学校区

順位	小学校区	区	割合(%)
1	香陵	東 区	3.9
2	百道	早良 区	5.6
3	松島	東 区	6.8
4	愛宕	西 区	7.3
5	玉川	南 区	8.6
6	東箱	東 区	8.7
6	四箇	早良 区	8.7
8	弥生	博多 区	8.8
9	板付	博多 区	8.9
9	原北	早良 区	8.9

4 世帯類型

(1) 1世帯当たり人員

博多区及び中央区に世帯規模が小さい校区が多く見受けられる

一般世帯の1世帯当たりの世帯人員についてみますと、西浦分校校区(西区)が3.77人で最も多く、以下、北崎校区(西区)が3.60人、小呂校区(西区)が3.30人、元岡校区(西区)が3.29人などと、西区に世帯規模が大きい校区が多く見受けられます。

一方、世帯規模が最も小さい校区は、春吉校区(中央区)の1.40人で、以下、東住吉校区(博多区)の1.49人、大名校区(中央区)の1.53人などと、博多区及び中央区に世帯規模が小さい校区が多く見受けられ、単独世帯の割合が高いことが要因の一つとして挙げられます。

表11 1世帯当たり人員が多い小学校区

順位	小学校区	区	人員
1	西浦分校	西 区	3.77
2	北崎	西 区	3.60
3	小呂	西 区	3.30
4	元岡	西 区	3.29
5	金武	早良・西 区	3.25
6	玄界	西 区	3.23
7	脇山	早良 区	3.22
8	今津	西 区	3.20
9	志賀	島東 区	3.16
10	入部	早良 区	3.15

表12 1世帯当たり人員が少ない小学校区

順位	小学校区	区	人員
1	春吉	中 央 区	1.40
2	東住	吉 博 多 区	1.49
3	大南	名 中 央 区	1.53
4	住吉	吉 博 多 区	1.55
4	大楠	南 区	1.55
6	堅粕	博 多 区	1.56
7	千代	博 多 区	1.57
7	簀子	中 央 区	1.57
9	美野	島 博 多 区	1.59
10	高宮	中 央 区	1.61

(2) 単独世帯

春吉校区が最も高い

単独世帯の割合についてみますと、春吉校区(中央区)が75.5%で最も高く、以下、東住吉校区(博多区)が72.7%、大楠校区(南区)

が71.0%、箕子校区(中央区)が69.5%、大名校区(中央区)が69.1%と続いています。

一方、最も低い校区は、西浦分校校区(西区)の10.1%で、以下、金武校区(早良・西区)の11.0%、元岡校区(西区)の11.5%と続いています。

表13 単独世帯の割合が高い小学校区

順位	小学校区	区	割合(%)
1	春	吉 中 央 区	75.5
2	東 住	吉 博 多 区	72.7
3	大	楠 南 区	71.0
4	箕	子 中 央 区	69.5
5	大	名 中 央 区	69.1
6	住	吉 博 多 区	68.8
7	美 野	島 博 多 区	68.7
8	堅	粕 博 多 区	68.0
9	千	代 博 多 区	67.6
10	馬	出 東 区	67.0

表14 単独世帯の割合が低い小学校区

順位	小学校区	区	割合(%)
1	西 浦 分 校	西 区	10.1
2	金	武 早 良 ・ 西 区	11.0
3	元	岡 西 区	11.5
4	壱 岐	南 西 区	11.6
5	早	良 早 良 区	11.8
6	北	崎 西 区	12.3
7	青	葉 東 区	12.4
8	入	部 早 良 区	12.6
9	内	野 早 良 区	13.2
10	香 椎	浜 東 区	14.4

(3) 核家族世帯

香陵校区が最も高い

核家族世帯(夫婦のみの世帯及び親子二世帯だけで構成される世帯)の割合についてみますと、香陵校区(東区)が80.1%で最も高く、以下、小田部校区(早良区)が79.6%、香椎浜校区(東区)が79.0%、壱岐東校区(西区)が77.1%、愛宕浜校区(西区)が76.7%と続いています。

表15 核家族世帯の割合が高い小学校区及び低い小学校区

順位	小学校区	区	核家族世帯			順位	小学校区	区	核家族世帯		
			割合(%)	うち夫婦のみ	うち夫婦と子供				割合(%)	うち夫婦のみ	うち夫婦と子供
1	香 陵	東 区	80.1	16.8	54.6	1	春 吉	中 央 区	19.3	8.4	6.0
2	小 田 部	早 良 区	79.6	21.0	47.5	2	小 呂	西 区	21.9	4.7	10.9
3	香 椎 浜	東 区	79.0	16.5	44.2	3	東 住 吉	博 多 区	23.1	8.2	8.7
4	壱 岐 東	西 区	77.1	14.4	42.1	4	大 楠	南 区	24.0	8.3	10.9
5	愛 宕 浜	西 区	76.7	18.6	50.8	5	大 名	中 央 区	25.3	10.6	9.2
6	青 葉 東	東 区	75.4	19.4	47.3	5	箕 子	中 央 区	25.3	8.8	11.4
6	早 良 早 良	早 良 区	75.4	21.9	43.8	7	住 吉	博 多 区	25.7	9.2	9.8
6	壱 岐 南	西 区	75.4	23.7	42.5	8	箱 崎	東 区	26.5	8.8	13.0
9	城 原	西 区	75.3	17.3	44.1	9	美 野 島	博 多 区	26.7	9.8	12.1
10	柏 原	南 区	74.5	20.5	47.0	10	千 代	博 多 区	27.5	9.9	9.9

一方、最も低いのは、春吉校区(中央区)の19.3%で、以下、小呂校区(西区)の21.9%、東住吉校区(博多区)の23.1%と続いています。

(4) 高齢単身世帯

城浜校区が最も高い

一般世帯に占める高齢単身世帯(65歳以上の1人のみの世帯)の割合についてみますと、城浜校区(東区)が14.9%で最も高く、以下、住吉校区(博多区)が13.4%、千代校区(博多区)が13.2%などと続いています。

一方、最も低い校区は、三苦校区(東区)の1.8%となっています。

表16 高齢単身世帯の割合が高い小学校区

順位	小学校区	区	割合(%)
1	城 浜	東 区	14.9
2	住 吉	博 多 区	13.4
3	千 代	博 多 区	13.2
4	大 名	中 央 区	12.0
5	西 陵	西 区	11.8
6	馬 出	東 区	11.6
7	西 戸	崎 東 区	11.3
8	有 住	早 良 区	10.4
9	能 古	西 区	10.3
10	博 多	博 多 区	10.0

表17 高齢単身世帯の割合が低い小学校区

順位	小学校区	区	割合(%)
1	三 苦	東 区	1.8
2	香 陵	東 区	1.9
3	百 道	浜 早 良 区	2.1
3	愛 宕	浜 西 区	2.1
5	松 島	東 区	2.8
6	香 椎 下	原 東 区	3.0
7	和 白	東 東 区	3.1
7	小 呂	西 区	3.1
9	原 北	早 良 区	3.2
10	月 隈	博 多 区	3.4

(5) 高齢夫婦世帯

能古校区が最も高い

一般世帯に占める高齢夫婦世帯(夫65歳以上、妻60歳以上の夫婦一組のみの一般世帯)の割合についてみますと、能古校区(西区)が17.6%で最も高く、以下、曲淵校区(早良区)が15.6%、志賀島校区(東区)が12.4%、長住校区(南区)が12.0%、東花畑校区(南区)及び西陵校区(西区)がそれぞれ11.5%と続いています。

一方、最も低い校区は、小呂校区(西区)の1.6%、以下、東住吉校区(博多区)の2.2%、松島校区(東区)の2.3%などとなっています。

表18 高齢夫婦世帯の割合が高い小学校区

順位	小学校区	区	割合(%)
1	能古	西区	17.6
2	曲淵	早良区	15.6
3	志賀島	東区	12.4
4	長住	南区	12.0
5	東花畑	南区	11.5
5	西陵	西区	11.5
7	北崎	西区	11.1
7	東若久	南区	11.1
9	西戸崎	東区	11.0
10	壹岐	南区	10.7

表19 高齢夫婦世帯の割合が低い小学校区

順位	小学校区	区	割合(%)
1	小呂	西区	1.6
2	東住吉	博多区	2.2
3	松島	東区	2.3
4	玉川	南区	2.4
5	美野	博多区	2.7
5	春吉	中央区	2.7
7	席田	博多区	2.8
7	簗子	中央区	2.8
7	香陵	東区	2.8
10	高宮	中央区	2.9

5 住宅

(1) 住宅の所有の関係

持ち家に住む世帯の割合は西浦分校校区が最も高く、民営の借家に住む世帯の割合は春吉校区が最も高い

持ち家に住む世帯の割合についてみますと、西浦分校校区(西区)が97.1%で最も高く、以下、北崎校区(西区)及び曲淵校区(早良区)がそ

れぞれ95.3%、能古校区(西区)が94.6%と続いています。

一方、借家の割合が最も高い校区は、城浜校区(東区)の99.7%で、以下、壹岐東校区(西区)の99.6%、有住校区(早良区)の97.7%などとなっており、これら三つの校区では、ほとんどの世帯が、公営・公団・公社の借家に住んでいます。

また、民営の借家に住む世帯の割合についてみますと、春吉校区(中央区)が76.3%で最も高く、以下、大楠校区(南区)が74.0%、玉川校区(南区)が72.8%、住吉校区(博多区)が71.9%、片江校区(城南区)が70.2%と続いています。

表20 持ち家比率の割合が高い小学校区

順位	小学校区	区	割合(%)
1	西浦分	西区	97.1
2	北崎	西区	95.3
2	曲淵	早良区	95.3
4	能古	西区	94.6
5	勝馬	東区	94.0
6	志賀島	東区	93.1
7	脇山	早良区	93.0
8	内野	早良区	88.1
9	今津	西区	87.5
9	小呂	西区	87.5

表21 借家の割合が高い小学校区

順位	小学校区	区	割合(%)
1	城浜	東区	99.7
2	壹岐	西区	99.6
3	有住	早良区	97.7
4	東住吉	博多区	86.6
5	堅粕	博多区	86.3
6	福浜	中央区	84.4
7	千代	博多区	84.0
8	春吉	中央区	83.8
9	塩原	南区	81.7
10	馬出	東区	81.2

表22 公営・公団・公社の借家の割合が高い小学校区

順位	小学校区	区	割合(%)
1	城浜	東区	99.7
2	壹岐	西区	99.2
3	有住	早良区	93.5
4	福浜	中央区	75.5
5	香椎	東区	68.3
6	大原	早良区	52.3
7	四箇	早良区	52.2
8	弥永	南区	50.1
9	弥生	博多区	48.4
10	東箱崎	東区	45.5

表2 3 民営の借家の割合が高い小学校区

順位	小学校区	区	割合(%)
1	春	吉 中 央 区	76.3
2	大	楠 南 区	74.0
3	玉	川 南 区	72.8
4	住	吉 博 多 区	71.9
5	片	江 城 南 区	70.2
6	高	宮 中 央 区	69.1
7	筥	松 東 区	69.0
8	簀	子 中 央 区	68.3
9	高	木 南 区	67.0
10	美 野	島 博 多 区	66.2

(2) 住宅の建て方

一戸建は曲淵校区、長屋建は壱岐南校区、共同住宅は香椎浜校区がそれぞれ最も高い

住宅の建て方についてみますと、一戸建は、曲淵校区(早良区)がすべての世帯で一戸建となっています。以下、西浦分校校区(西区)が99.7%、能古校区(西区)が99.6%、勝馬校区(東区)及び北崎校区(西区)がそれぞれ98.8%などと、早良区及び西区で一戸建が多い校区が多く見受けられます。

次に、長屋建についてみますと、壱岐南校区(西区)が14.0%で最も高く、以下、小呂校区(西区)が8.3%、東月隈校区(博多区)が8.0%、早良校区(早良区)が7.0%と続いています。

さらに、共同住宅についてみますと、香椎浜校区(東区)が99.5%で最も高く、以下、壱岐東校区(西区)及び城浜校区(東区)がそれぞれ99.4%、香稜校区(東区)が98.7%、有住校区(早良区)が97.1%と続いています。

表2 4 一戸建に住む世帯の割合が高い小学校区

順位	小学校区	区	割合(%)
1	曲	淵 早 良 区	100.0
2	西 浦 分 校	西 区	99.7
3	能	古 西 区	99.6
4	勝	馬 東 区	98.8
4	北	崎 西 区	98.8
6	志 賀	島 東 区	97.9
7	脇	山 早 良 区	97.1
8	早	良 早 良 区	92.7
9	内	野 早 良 区	92.1
10	今	津 西 区	92.0

表2 5 長屋建に住む世帯の割合が高い小学校区

順位	小学校区	区	割合(%)
1	壱 岐	南 西 区	14.0
2	小	呂 西 区	8.3
3	東 月	隈 博 多 区	8.0
4	早	良 早 良 区	7.0
5	鶴	田 南 区	6.9
5	東 花	畑 南 区	6.9
7	八	田 東 区	6.3
8	馬	出 東 区	6.0
9	那	珂 博 多 区	4.8
10	野	芥 早 良 区	4.3

表2 6 共同住宅に住む世帯の割合が高い小学校区

順位	小学校区	区	割合(%)
1	香 椎	浜 東 区	99.5
2	壱 岐	東 西 区	99.4
2	城	浜 東 区	99.4
4	香	陵 東 区	98.7
5	有	住 早 良 区	97.1
6	東 箱	崎 東 区	96.3
7	舞	鶴 中 央 区	95.0
7	福	浜 中 央 区	95.0
9	堅	粕 博 多 区	94.1
10	東 住	吉 博 多 区	92.8

(備考)

なお、今月号の特集でご紹介した内容については、福岡市のホームページにおいて閲覧及びダウンロード(EXCEL形式)することができます。
(<http://www.city.fukuoka.jp/>)

また、これらの内容については、町丁字別でも掲載されていますので、併せて御覧下さい。

